

今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

オフィスの生産性革命！電子認証ペーパーレス入門 横山 公一 著ほか／TCG 出版(336-ヨコヤ)	どんまい 重松 清 著／講談社(F-シゲマ)
10代からの社会学図鑑 クリス ユール 著ほか／三省堂(361-ユルク)	戒名探偵卒塔婆くん 高殿 円 著／KADOKAWA(F-タカド)
働き方改革のすべて 岡崎 淳一 著／日本経済新聞出版社(366-オカザ)	ダンデライオン 中田 永一 著／小学館(F-ナカタ)
適応障害のことがよくわかる本 貝谷 久宣 監修／講談社(493-テキオ)	海とジイ 藤岡 陽子 著／小学館(F-フジオ)
どんな災害でもイヌといっしょ 徳田 竜之介／監修 小学館クリエイティブ(645-ドンナ)	月 辺見 庸 著／KADOKAWA(F-ヘンミ)
好日日記 森下 典子 著／パルコエンタテインメント事業部(791-モリシ)	夜のリフレーション 皆川 博子 著・日下 三蔵 編／KADOKAWA(F-ミナガ)
サバイバル英会話 関 正生 著／NHK 出版(837-セキマ)	熱帯 森見 登美彦 著／文藝春秋(F-モリミ)
宮部みゆき全一冊 宮部 みゆき 著／新潮社(910.2-ミヤベ)	首無館の殺人 月原 渉 著／新潮社(PF-ツキハ)

浪漫紀行 福島

お正月の縁起物とされるだるま。今回は、福島市で作られている、福島だるまについて紹介します。やや面長で顔の彫りが深く、頭頂部が平ら。眉は鶴、髭が亀を表し、顔の両脇には、火防を表す唐草模様が描かれています。また、にらみつけて悪魔を退治し、福を呼ぶということから、初めから目が入っているのが特徴です。江戸後期から市内にある、渡辺家と村田家をはじめ他2軒の家で手掛けていましたが、現在では、前述の2軒のみになっています。各家で継承されている木型を使用し、だるまの大きさによって和紙の厚さを定める「紙あわせ」を厳守するなど、とても手間をかけて製作されています。

参考文献：『信夫』赤井 武史 著ほか／歴史春秋社(K212.6/シノブ)

『福島県の文化「福島市史」別巻7』福島市教育委員会内福島市史編纂委員会 編纂／福島市教育委員会(K212.6/フクシ)
『福島の伝統的工芸品』「福島の伝統的工芸品」制作委員会 編／福島の伝統的工芸品制作委員会(K750/フクシ)

クイズの答え

答え ③

かまぼこは、半円の形状が元旦の初日の出に似ているということで、おめでたい食材といわれています。また、赤は「めでたさと喜び」を、白は「清浄」を表し、さらに縁起の良さが重ねられています。

図書館カレンダー 1月

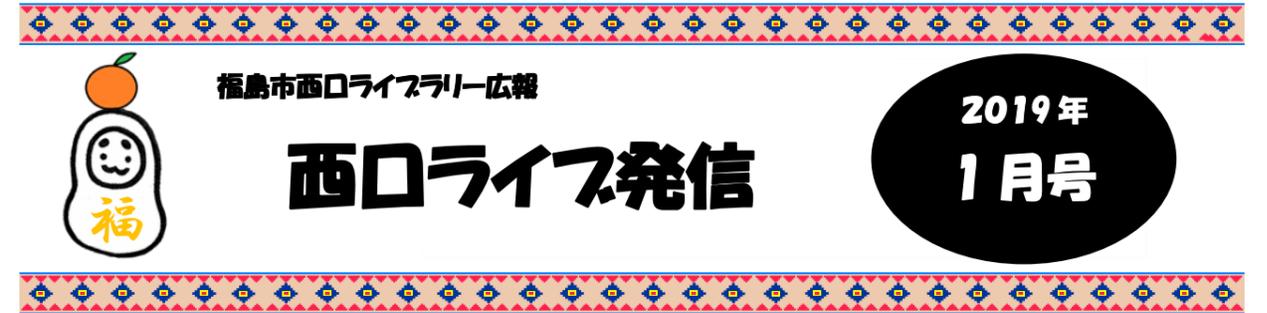
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

印は休館日

2019年1月4日発行

編集：福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023
発行：福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551

ホームページ：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス：
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile/>



福島市西口ライブラリー広報



西口ライフ発信

2019年
1月号

今月の新着本案内



『やわらかいごちそう』

川上 文代 著／辰巳出版
(596-カワカ)

年齢を重ねると、噛む力や飲み込む力が弱くなります。しかし、切り方や下ごしらえ、とろみの利用など調理法を工夫すれば、おいしいごちそうを食べることができます。食べやすく、見た目も華やかで、食欲がわくレシピを紹介します。



『わかる！使える！』

作業工具・取付具入門
澤 武一 著／日刊工業新聞社
(532-サワタ)

アクセサリ作りやDIY、日曜大工に必要な作業工具。身近な存在になったとはいえ、その使い方合っていますか？ 無理な力を使わずとも簡単に作業ができるよう、工具の仕組みと正しい使い方を伝授します。

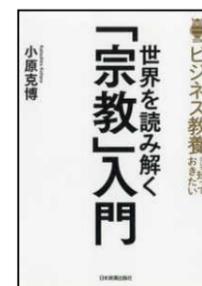


『旅する天皇』

竹内 正浩 著／小学館(288-タケウ)

現在の天皇陛下が即位されて30年。その間に、天皇・皇后両陛下が「旅」をされた距離は、60万キロを遙かに超えていた。

歴代天皇で初めて、沖縄訪問や被災地を見舞うなど、国民に寄り添った旅の足跡を、地図や旅先のエピソードを交えながら巡る。



『世界を読み解く「宗教」入門』

小原 克博 著／日本実業出版社
(160-コハラ)

ビジネスを通し、様々な国の人と関わる機会が増えている。しかし、日本人には、宗教的背景に配慮し仕事をする事は、馴染みが薄い。思わぬトラブルを起こさないためにも、宗教を正しく理解することが求められる。相手との円滑な関係を築くための一助となる一冊。



『辺境メシ』

高野 秀行 著／文藝春秋
(383-タカノ)

辺境探検家である筆者が、ゴリラの肉や口噛み酒など、世界中の珍味の数々を食べた体験が綴られています。日本でも食べることができる珍味やお店も紹介されているので、興味のある方は挑戦してみませんか？

展示★名作案内



古き良き日本文化 魅力溢れる日本!



『ひなびた温泉パラダイス』

岩本 薫・上永 哲矢 著／山と溪谷社
(291.0-イワモ)

安すぎる入浴料、三人も入ればいっぱい湯舟、そして地元の人たちの笑い声。本書は、全国各地のひなびた温泉地を紹介するエッセイです。豪華な湯舟もご馳走ありませんが、古き良き日本の姿が確かにあります。



『図解日本の絵画』

守谷 正彦 監修／東京美術
(721-ズカイ)

日本画は、仏教絵画である曼荼羅をはじめ、絵巻物や浮世絵など、様々な作品が描かれてきました。

それぞれの様式や技法といった基本から、製作された目的など、図を用いて、わかりやすく解説します。



『斉藤辰夫のいちばんかんたんな和食』

斉藤 辰夫 著／NHK出版(596-サイト)

肉じゃが、いか大根、豚肉のしょうが焼き…。食卓で定番の和食をより美味しく、簡単に作れるコツを紹介します。だしの取り方や材料の切り方など、和食の基本の解説付きで初心者の方にもおすすの一冊です。



『大相撲殺人事件』

小森 健太郎 著／文藝春秋
(PF-コモリ)

日本文化を学ぶため、アメリカからやってきたマーク。思いがけず相撲部屋に入門し、力士としてデビューする。しかし、土俵爆殺事件を皮切りに、角界で殺人事件が次々と勃発し、マークも巻き込まれていくことに…。



『子どもの着物大全』

似内 恵子 著／誠文堂新光社
(383-ニタナ)

晴れ着を着て子どもの誕生から成長を願う行事が、日本には古くからあります。親の願いがどのようにこめられ、着物は今日に至っているのでしょうか。着装に役立つ知識や友禅染の現場など、様々な角度から子どもの着物の魅力を紹介します。



書くひとの館

132号室

今野 敏
(このびん)

1955年北海道生まれ。上智大学在学中に『怪物が街にやってくる』で問題小説新人賞を受賞しデビュー。卒業後、レコード会社勤務を経て執筆に専念。2006年に『隠蔽捜査』で吉川英治文学新人賞を受賞。日本推理作家協会代表理事。警察小説など多くの作品が映像化されている。

～その他の作品～

『同期』シリーズ
『東京湾臨海署安積班』シリーズ
『ST 警視庁科学捜査班』シリーズ など

サーベル警視庁

角川春樹事務所(F-コン)

時は文明開化が進む明治。警視庁第一部第一課のもとに「不忍池で帝国大学教師の遺体が発見された」との一報が届く。第一課の面々は聞き込みを始めるが、遺体発見者の葉売りを見失ってしまう。さらに同日、陸軍大佐が刺殺される事件が起こり…。私立探偵・西小路や元新選組・斎藤一、さらには子爵令嬢も捜査に加わり事件の謎を解き明かす、明治警察ミステリー。

～隠し部屋～

アメリカのテレビドラマ『グリーン・ホーネット』に出てくる、ブルース・リー扮する空手の達人・カトーに憧れて空手に興味を持つ。大学から空手を始め、現在では「空手道今野塾」という空手道場を主宰している。

クイズ解かっせ

お正月に食べる料理といえばおせち料理。めでたさを重ねるという意味で、重箱に詰められた料理ひとつひとつにも意味があります。

次のうち、かまぼこが表しているものはどれ？

- ① 宝船の帆 ② 花束 ③ 日の出 ④ 鳳凰の羽



※答えは最後のページ